

「第2回利用団体のための体験活動研修会」

1. 趣旨

国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が、施設の利用方法や登山活動の内容を理解するとともに、実際に登山を体験する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和元年5月11日（土）

(2) 参加者

①参加対象 平成31年度（令和元年度）利用団体（主に4～7月）で、活動プログラムの体験を希望する各団体の引率者

②参加人数 10名（4校）

③参加者の内訳 小学校8名、中学校2名

3. 企画運営のポイント

- ・実際に登山を児童・生徒と同じように体験することで、登山指導のポイントなどを理解し、当日安全に活動が進められるようにする。
- ・施設見学では、施設の場所だけではなく、ガイドブックには記載していない情報などを伝える。
- ・参加する各学校に、事前に質問事項を出してもらうことで、当日の質疑応答の時間を有効に使えるようにする。（基本的なことの共通理解を図る）

4. 日程

	午前	午後	夜
5月11日 (土)	開会行事 施設見学 施設利用説明 質疑応答 登山体験	登山体験 プログラム相談	

5. 主な活動内容



「施設見学」



「施設利用説明」



「登山前（荷物確認）」



「登山（登り）」



「登山（山頂昼食）」



「登山（下り）」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果（10名回収）

満足10名（100%） やや満足0名 やや不満0名 不満0名

(2) 参加者の声

- ・登山の良さを身をもって味わうことができよかったです。
- ・貴重な体験をすることができました。
- ・短い時間でしたが、施設の様子がよく分かりました。安心して施設を利用することができます。
- ・わかりやすく説明して頂きありがとうございました。
- ・施設見学では、1校に1名のスタッフがついて案内して頂いたのととても分かりやすく助かりました。
- ・登山体験では、歩き方や歩行優先方向、危険箇所など、ていねい説明して頂いたので、登山のポイントがよく分かりました。
- ・今年から利用することになったので、不安なところもあったのですが、このような研修会を企画して頂きとても助かりました。
- ・登山では、歩く際の注意を場所ごとにその場で教えて頂きとても分かりやすかったです。子供たちの指導に大変役に立ちます。
- ・登山途中、体調不良等にも対応して頂きありがとうございました。
- ・オリエンテーション動画が分かりやすく、ありがたかったです。

(3) 成果

- ①参加した先生方に登山体験をしてもらい、実際の場所で指導のポイント（危険箇所、休憩場所等）を説明することで、しっかりと理解してもらえることができた。
- ②施設見学では、各学校に1人の企画指導専門職が付いて案内することで、各校のプログラムに沿って施設を回ることができた。また、各校の相談にもなることができた。
- ③施設利用について、動画を活用して全体で一斉に説明することで、参加した先生方の共通理解が図れた。（説明する者が複数になると、微妙に受け取り方が異なる）

(4) 課題

- ①アンケートでは、登山体験は全員が休日に実施した方がよいと回答していることから、次年度は所内プログラム体験を平日、登山を休日にする 것을検討していきたい。
- ②参加者が定員に満たなかったことから、登山を実施する学校が減ってきていることも考えられる。次年度は登山活動の良さを周知するとともに、参加者が増えるよう、この研修会の利点等を各学校が入所しているときに伝えていきたい。

担当 主任企画指導専門職 梁河 昌彦